

会 議 録

会議の名称	第3回佐渡市宿泊税検討会議
開催日時	令和7年3月 31 日(月) 午後1時 30 分から午後2時 30 分まで
場所	佐渡市役所第1庁舎 2 階 1-202 会議室
次 第	1. 開 会 2. 議 題 佐渡市宿泊税検討会議報告書(案)について 3. 閉 会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	(委 員) 7名 (オブザーバー) 3名 (事務局) 観光振興部 部長 小林 大吾 観光振興部観光振興課 課長 畠山 和義 観光振興部観光振興課観光戦略係 係長 福嶋 雅麗 観光振興部観光振興課観光戦略係 主事 番場 柁哉
会議資料	No.1:佐渡市宿泊税検討会議報告書(案) No.2:佐渡市宿泊税検討会議委員名簿
傍聴人の数	—
備考	—

会議の概要(発言の要旨)	
1.開 会(部長あいさつ)	
発言者	議題・発言・結果等
観光振興部長	○佐渡観光にとって、今年が勝負の年になると考えている。プロモーションはもちろんのこと、持続可能な観光地づくりに向けて、受入環境の整備が重要となる。 ○法定外税等の新たな財源の導入に向けては、様々な課題があると認識している。 ○事務局から事前に報告書案をお示しし、意見をいただいているところであるが、本日の会議で最終調整を行い、取りまとめの上、報告書として4月上旬に公表したいと考えている。
2.議 題	
発言者	議題・発言・結果等
座 長	○次第2. 議題について事務局から説明を求める。
事務局	○会議資料 No.1により説明 1. 検討にあたって ・人口減少や高齢化などにより、観光振興に関わる財源確保がかねてからの課題となっていた。 ・佐渡観光旅館連盟から宿泊税の導入について要望書が提出されたことを受け、有識者からの意見や助言を求めるため、当会議を3回開催して検討をしてきた。 2. 佐渡市の現状 ・佐渡市の財源状況は、財源不足額を財政調整基金の取り崩しで賄ってきたことに加え、近年の災害等により財政調整基金残高が減少している。 ・令和6年の観光入込は令和5年より増加しているが、コロナ禍前の令和元年よりは少ない状況である。 ・観光消費額は過去5年で比較すると交通以外の各項目において、消費拡大傾向になっている。 3. 新たな観光財源導入に向けて ・使途については「①地域の環境を守ること」「②観光産業が継続して営まれること」の2つを使途として整理した。 ・新たな財源としては、入湯税の超過課税や寄附金を候補として考えられたが、宿泊税と入島税に絞って検討を行ってきたが、納税義務者や特別徴収義務者への負担を鑑みて効率的で効果的な方法として入島税が適しているという意見が多かった。 ・宿泊税と入島税について、仮スキームを示したうえで、意見交換を行ったが、仮スキームの税率・税額では不足であるという意見が目立った。 4. まとめ ・使途については「①地域の環境を守ること」「②観光産業が継続して営

	まれること」の2つを目的とした施策に充当することが望ましい。 ・宿泊税と入島税を比較検討した結果、受益と負担の一致、仕組みが簡素であること等の理由から入島税の方が適当である。 ・税率や課税免除等の課税要件については、グランドデザインを明確にしたうえで検討することが望ましい。
座 長	○検討会議では、課税要件や税率等を決めるものではなく、有識者からの意見や助言として報告書にまとめていく。 ○最終回となる今回の会議では、報告書(案)について意見をいただきたい。
A 氏	○準住民はどのような人を指すか、改めて伺いたい。
事務局	○準住民については、報告書(案)9ページにある入島税の仮スキームに詳細を記載してあるが、介護帰省者や佐渡出身学生等の佐渡市との関係性が強い人を指す。
A 氏	○税は簡素であることが重要だと思うので、内容についての意見は特にならない。
B 氏	○「①地域の環境を守ること」「②観光産業が継続して営まれること」は重要だが、「地域の環境」の中に「島民の生活環境を守ること」についても含むべきではないか。 ○導入にあたっては、税額や要件について、より詳細な議論をしていかなければならない。
C 氏	○報告書(案)12 ページの 8 個目の意見については、準住民に限ったことではなく、区別なく、来訪される人に一律で求めるべきという主旨に修正してもらいたい。
事務局	○主旨に沿って、修正する。
D 氏	○島民のコンセンサスをとるために必要な文言も追加してほしい。
E 氏	○まとめ3「どのような人にどれくらい来てもらいたいのか」の書きぶりが正しいか確認をしてほしい。入島税をとることで来てほしい人と来てほしくない人などの意思を持って導入するように捉えられる可能性があるのではないか。
事務局	○文意に齟齬がないよう、修正したい。
E 氏	○まとめ1については、来訪者(納税義務者)の利便性向上などの恩恵につながる事項を追加してもいいのではないか。
事務局	○来訪者の恩恵については、②に含まれると考えてきたが、内部で検討していきたい。
E 氏	○「島内の観光産業が」という印象が強く、来訪者が含まれていない印象を受けてしまう。
F 氏	○「地域の環境を守る」は生活環境と自然環境の2つの意味がある。明記してはどうか。 ○税率は定額の場合には税額になるので、「税率」と「税額」を併記すべき。定率前提にならないように配慮すべき。 ○最後の「宿泊事業者」の記載があるが、入島税の場合、宿泊事業者に負担が生じるのか。

事務局	○まだ宿泊税の可能性もあるので、併記してある。
F 氏	○まとめ3の書き方は工夫が必要だが、「どのような人に選ばれたいか」という視点は残しておくべき。その視点がないとどのような環境を整えていく必要があるのかが明確にならない。
事務局	○文意から外れないように修正したい。
座 長	○本日いただいた意見も「委員からの意見」に加筆してもらいたい。
座 長	○その他全体を通して意見があればお願いしたい。
F 氏	○いつ導入する予定か。
事務局	○具体的な時期については、申し上げられない。法定外税を導入する際に徴収義務者や納税義務者からの理解を得る必要があるため、改めて理解を求めていく必要がある。
F 氏	○着手については、時間を空けることなく、実施したほうが良い。
3.閉 会	
発言者	議題・発言・結果等
座 長	○以上で、本日の会議を閉会する。